

芦屋市立美術博物館及び芦屋市谷崎潤一郎記念館の管理業務に関する事業報告書  
(事業年度 平成31年4月1日～令和2年3月31日)

芦屋市長 伊藤 舞 様

名称 小学館集英社プロダクション共同体

報告者 所在地 東京都千代田区神田神保町2-30 昭とビル  
(株)小学館集英社プロダクション  
代表者氏名 都築 伸一郎

<p>管理業務の実施状況</p>	<p><b>1 施設維持管理</b></p> <p><u>(1) 施設の保全・管理</u> 美術博物館・谷崎潤一郎記念館ともに竣工より約30年を経過し、躯体及び設備についても経年劣化・老朽化が起こっているため、各設備についての現状把握及び、日常的な巡回点検及び設備異常の防止に努め、施設管理のルーチング業務を徹底した。また、本年度は各設備等の更新や改修について予定されていたもの以外にも緊急的に発生したため、随時市との連絡調整及び協議を行い、迅速な改修作業を実施した。これにより設備・建物の耐用年数の長期化を図る管理を行った。</p> <p><u>(2) 安全・快適な施設の提供</u> 避難経路の確保、危険枝の剪定、害虫駆除、消防訓練、関係者への研修等を実施した。また、非常用照明の点検・排煙窓の点検等災害時の重要設備における日常点検及び館内・館外の不審者のチェック等を強化し、不具合の改修をしつつ安全の確保に努めた。12月に発生した新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大を受け、日常清掃時の接触箇所(ドアノブ・手摺等)に対する除菌作業を毎日実施している。引き続き除菌作業を継続予定である。</p> <p><u>(3) 清潔や環境の維持管理</u> 定期清掃やガラス清掃、空気環境測定検査及びクーリングタワーの清掃等を実施し、清潔な環境の維持管理に努めた。また芝や庭園に適宜散水し、雑草の処理を実施した。</p> <p><u>(4) その他対応</u> 温湿度維持システムのメーカーによるメンテナンスを実施し、管理課職員、維持管理本部、学芸員による日々の調整で安定化を図り、光熱水費の削減を図った。また、雑排水管への草木根っここの侵入による詰まりの解消及び、経年劣化箇所の修繕提案を行った。庭園の松の木衰弱等への対応や改修等を実施した。</p> <hr/> <p><b>2 安全管理/危機管理対策、個人情報保護</b></p> <p><u>(1) 各種マニュアルの周知徹底</u> 代表企業の危機管理室の指導により、危機管理マニュアル実施状況の確認及びリメイクを実施し、施設特有の安全管理を個別に抽出、マニュアルに反映した。また、年3回の安全監査では、新マニュアルの再確認が行われた。</p> <p><u>(2) 研修・訓練の実施</u> 防災訓練(8/29,9/18)を実施した。また、避難訓練、消火器使用の研修を行った。安全管理担当者向けに、MFA研修(応急救護訓練)、防災体験学習研修を行った。</p> <p><u>(3) その他</u> 代表企業の安全管理室の内部監査(11/20,1/17,2/18)を実施し、改善を図った。夏には例年通り、「安全強化月間」を実施。また、安全管理会議(6/19,11/27)を実施した。</p> <hr/> <p><b>3 広報活動</b></p> <p><u>(1) 文化ゾーンでの連携</u> 美術博物館・谷崎潤一郎記念館・図書館で連携し、イベントniwa-doku(10/27)を実施した。また美術博物館・谷崎潤一郎記念館の連携事業である「芦屋市文化ゾーン講座」は実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。</p> <p><u>(2) 各種広報媒体の充実、広報先の拡大</u> 地域の施設、店舗に展覧会ごとに30か所程度、ポスター・チラシの設置を直接出向き、お願いをしている。また電鉄会社の駅張りは梅田、三宮駅を中心に広範囲の広報に努め、動員を図った。SNSの効果を高めるため、ツイッター・フェイスブックは毎日更新するように努力した。また小学館発行の雑誌「和楽」の「美術館カレンダー」に、美術博物館情報の毎月掲載を実施した。</p> <p><b>4 事業</b> 美術博物館では6回の展覧会を、谷崎潤一郎記念館では5回の展覧会を予定していたが、両館ともに3月中旬以降の展覧会は中止となった。展覧会以外にもワークショップ、講演会、ギャラリートーク、コンサート、ロビー展、谷崎館講座など様々な事業を実施した。 ※事業内容については別紙1のとおり</p>
<p>施設の利用状況</p>	<p><b>1 サービスの向上</b></p> <p><u>(1) 研修・訓練の実施</u> 管理者マネジメント研修(6/28)を実施した。</p> <p><u>(2) 利用者アンケートの収集</u> 展覧会観覧者から忌憚りの無い意見を頂くため、受付で全員の方にお渡しし、ご協力を仰いだ。展覧会毎にデータは整理し、次回以降の実施の参考とした。</p> <p><u>(3) 多言語対応</u> 谷崎潤一郎記念館では外国人利用者向けに英語の展示解説書を手渡した。 ※入館者数は別紙2のとおり</p>
<p>使用料(利用料金)の収入実績</p>	<p>※入館料等は別紙2のとおり</p>

令和2年4月29日（水）

**芦屋市立美術博物館  
芦屋市谷崎潤一郎記念館  
令和元年度 事業報告書**

小学館集英社プロダクション共同体

# 芦屋市立美術博物館

## 1 展示事業

### (1) 常設・企画展

名 称	期 間	観覧者数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「描かれた神戸・大阪」 阪神名勝図絵と青山政吉</li> <li>・芦屋の歴史と文化財（歴史資料展示室）</li> </ul>	4/13～6/30 （69日）	3,925名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コレクション展 こどもとおとな「これ、なににみえる？」</li> <li>・芦屋の歴史と文化財（歴史資料展示室）</li> </ul>	7/13～9/23 （63日）	4,437名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第65回芦屋市展</li> <li>・生誕100年 菅井 汲 展 （歴史資料展示室）</li> </ul>	10/8～11/24 （42日）	3,452名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・in number, new world/四海の数</li> <li>・「昔のくらし展」（歴史資料展示室）</li> </ul>	12/7～2/9 （49日）	2,242名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第37回 芦屋市造形教育展</li> <li>・「昔のくらし展」（歴史資料展示室）</li> </ul>	2/15～2/24 （9日間）	4,354名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術と音楽の8日間 rooms（延期）</li> </ul>	3/14-3/22 （8日間）	0名

※美術と音楽の8日間 rooms は新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、次年度事業に延期

常設・企画展合計 18,410名  
総入館者合計 33,315名

## 2 教育普及活動

### (1) 展覧会関連事業

名 称	内 容	開催月日	参加者数
「-描かれた神戸・大阪- 阪神名勝図絵と青山政吉」展 関連事業			
○オープニングイベント講演会 「阪神間モダニズム～その源流と伏流水」	講師：三宅正弘 (武庫川女子大学准教授)	4/14	24名
○ホールコンサート 「新緑の中で午後のひととき」	演奏：金澤佳代子 (ピアノ) 中野幸代 (フルート)	5/18	56名
○ワークショップ 「みんなで楽しく絵を描こう」	講師：瀬島万里子 (イラストレーター)	6/2	42名
○ギャラリートーク	講師：当館学芸員	5/26 6/9	20名 25名
「コレクション展 こどもとおとな -これ、なににみえる？」展 関連事業			
○講演会「みる・考える・話す・聴く -対話型鑑賞で得られる「生きる」-	講師：福のり子 (アート・コミュニケーション 研究センター所長、京都造形芸術大学芸術 学部教授)	7/20	60名
○親子で楽しむおはなし付きコンサート サン＝サーンス作曲「動物の謝肉祭」	演奏：山口採菜 (ピアノ) 八重崎渚 (ピアノ、パーカッション) お話：あさいさくら 主催：芦屋市立美術博物館 企画：I LOVE ASHIYA 協力：あおぞらドラマカンパニー 伊勢幼稚園	7/21	138名
○ギャラリートーク	解説：当館学芸員	7/28 8/18 9/1	8名 4名 8名
○ワークショップ 工場見学&絵の具づくり体験 「絵の具工場を見に行こう」	運営：当館学芸員 会場：ホルベイン枚岡工場	8/6	19名
○せいゆうによる音と映像の楽しいよみきかせ 「小学館 おはなし玉手箱」	主催：(株)小学館、 (株)小学館集英社プロダクション 協賛：一般社団法人日本児童教育振興財団 声優：株式会社 81 プロデュース	8/11 ①11:00- ②14:00-	97名 82名
○ワークショップ 「いろんな素材でBOXアートづくり」	講師：当館学芸員	8/25	75名
○ワークショップ 「キャンバス張り、教えます！」	講師：里陽造 (有限会社一風堂)	9/16	7名

<p>「第 65 回 芦屋市展」 関連事業</p> <p>○写真：講評会</p> <p>○平面：講評会</p> <p>○授賞式</p>	<p>永坂嘉光 (写真家)、 北野裕之 (写真家、京都精華大学准教授)</p> <p>今井祝雄 (美術家、元美術協会会員) 児玉靖枝 (美術家、京都市立芸術大学 特任教授) 池上司 (西宮市大谷記念美術館学芸員)</p> <p>芦屋市長賞、芦屋市議会議長賞、芦屋市立美 術博物館奨励賞、審査員特別賞 (寄託賞) 芦屋市婦人会賞、芦屋ユネスコ協会賞、芦屋 ライオンズクラブ賞、菊寿会会長賞 ターナー色彩株式会社賞、中山岩太賞、ハナ ヤ勘兵衛賞、マースフォト賞、吉原賞、LADS ギャラリー賞、 オーディエンス賞 (来館者の投票による)</p>	<p>10/20</p> <p>11/10</p> <p>11/24</p>	<p>28 名</p> <p>50 名</p> <p>57 名</p>
<p>「in number, new world/四海の数」展 関連事業</p> <p>○オープニングイベント 「アーティストによるギャラリートーク」</p> <p>○講演会「トークⅠ」</p> <p>○講演会「トークⅡ」</p> <p>○講演会「トークⅢ」</p> <p>○ツアートーク 「長谷川三郎の軌跡を追って」</p> <p>○ギャラリートーク</p>	<p>講師：今井祝雄、久門剛史、津田道子、中村 裕太 (本展出品作家)</p> <p>講師：久門剛史 (美術家)、林寿美 (インデ ィペンデントキュレーター)</p> <p>講師：今井祝雄 (美術家) 浅沼敬子 (北海道大学大学院 准教授・芸術学)</p> <p>講師：津田道子 (美術家)</p> <p>講師：中村裕太 (美術家)、 服部正 (甲南大学教授)</p> <p>講師：当館学芸員</p>	<p>12/7</p> <p>12/14</p> <p>12/21</p> <p>1/13</p> <p>1/25</p> <p>1/12 2/2</p>	<p>57 名</p> <p>26 名</p> <p>22 名</p> <p>35 名</p> <p>12 名</p> <p>8 名 21 名</p>
<p>「美術と音楽の 8 日間 rooms」展 関連事業 (全て延期)</p> <p>○ライブ</p> <p>○ピアノでの対話「とあるひ」</p> <p>○サロン</p> <p>○それでも残ったもの/音を海にたどる ① それでも残ったもの</p>	<p>出演：平井真美子 (ピアノ) ゲスト：坂本美雨 (歌)</p> <p>出演：平井真美子 (ピアノ)</p> <p>講師：藤本由紀夫 (アーティスト)</p> <p>講師：米子匡司</p>	<p>3/14</p> <p>3/15</p> <p>3/18</p> <p>3/20</p>	<p>延期</p> <p>延期</p> <p>延期</p> <p>延期</p> <p>①13:00-</p>

② 音を海にたどる		②17:00-	
○「子ども合唱ワークショップ」	講師：太田美帆（歌）	3/21	延期
○ライブ	出演：宮内優里（電子音楽）	3/21	延期
○BGM演奏	出演：宮内優里（電子音楽）	3/22	延期
○ライブ	講師：太田美帆（歌）	3/22	延期

## (2) 講演、講座等

名 称	内 容	開催月日	参加者数
○オープニングイベント講演会 「阪神間モダニズム～その源流と伏流水」 (再掲)	講師：三宅正弘 (武庫川女子大学准教授)	4/14	24名
○まなびはく 2019 「美術を取り巻く環境が大きく変わってしまった事について」	講師：天野太郎 札幌国際芸術祭 2020 統括ディレクター 横浜市民ギャラリーあざみ野 学芸員	6/15	52名
○講演会「みる・考える・話す・聴く-対話型鑑賞で得られる「生きる力」-」 (再掲)	講師：福のりこ (アート・コミュニケーション 研究センター所長、京都造形芸術大学芸術学部 教授)	7/20	60名
○まなびはく 2019 「美術館ってどんな場所？～教育普及現場からのお話」	講師： 遊免寛子 (兵庫県立美術館 学芸員) 清家三智 (名古屋市美術館 学芸員) 本丸生野 (姫路市立美術館 学芸員)	8/17	53名
○市民センター出前講座 芦屋市谷崎潤一郎記念館・芦屋市立美術 博物館合同公開セミナー	講師：当館学芸員	8/23	42名
○まなびはく 2019 「個と風景の「造形」ワークショップ、 パフォーマンス、トーク」	講師：高橋耕平 (美術家)	9/7	21名
○まなびはく 2019 「木村秀樹の現代版画論」	講師：木村秀樹 (画家、版画家、京都市立芸術 大学名誉教授)	10/26	69名
○講演会「トークⅠ」(再掲)	講師：久門剛史 (美術家)、林寿美 (インディペン デントキュレーター)	12/14	26名
○講演会「トークⅡ」(再掲)	講師：今井祝雄 (美術家) 浅沼敬子 (北海道大学大学院 准教授・芸術学)	12/21	22名
○講演会「トークⅢ」(再掲)	講師：津田道子 (美術家)	1/13	35名
○ツアートーク「長谷川三郎の軌跡を追っ て」(再掲)	講師：中村裕太 (美術家)、 服部正 (甲南大学教授)	1/25	12名
○「昔のくらし」展ギャラリートーク	講師：当館学芸員	2/8	10名

## (3) ワークショップ等

名 称	内 容	開催月日	参加者数
○「イセコレワークショップ」	伊勢幼稚園ファッションショーのため のワークショップ (5/8 実施) 講師：当館学芸員	4/24	76名
○「イセコレ」	前庭にて、保護者観覧。	5/8	134名

	講師：当館学芸員		
○「つくる場を飾ろう」	伊勢幼稚園児の作品制作。 講師：当館学芸員	5/17	74名
○「宝島ワークショップ」(つくるば)	講師：清水大喜(美術家)	5/26	120名
○ワークショップ 「みんなで楽しく絵を描こう」(再掲)	講師：瀬島万里子(イラストレーター)	6/2	42名
○ワークショップ 工場見学&絵の具づくり体験 「絵の具工場を見に行こう」(再掲)	運営：当館学芸員 会場：ホルベイン枚岡工場	8/6	19名
○「土器・はにわ作り体験」	講師：森山由香里(生涯学習課学芸員) 当館学芸員	8/22	39名
○ワークショップ 「いろんな素材でBOXアートづくり」(再掲)	講師：当館学芸員	8/25	75名
○ワークショップ 「キャンバス張り、教えます！」(再掲)	講師：里陽造(有限会社一風堂)	9/16	7名
○芦屋市展 写真：講評会	永坂嘉光(写真家)、 北野裕之(写真家、京都精華大学準教授)	10/20	28名
○芦屋市展 平面：講評会	今井祝雄(美術家、元美術協会会員) 児玉靖枝(美術家、京都市立芸術大学特任教授) 池上司(西宮市大谷記念美術館学芸員)	11/10	50名
○オープニングイベント 「アーティストによるギャラリートーク」(再掲)	講師：今井祝雄、久門剛史、津田道子、 中村裕太(本展出品作家)	12/7	57名
○甲南女子大学 トークイベント	講師：当館学芸員	12/14	55名
○「昔の暮らし」ギャラリートーク ※市内小学生の来館含む	講師：当館学芸員	12/22 2/8	3名 10名

#### (4) その他事業

名 称	内 容	開催月日	参加者数
○ホールコンサート 「新緑の中で午後のひととき」(再掲)	演奏：金澤佳代子(ピアノ) 中野幸代(フルート)	5/18	56名
○「あしやつくるば 2019 春」	手作り品を中心としたアートバザール	5/25 5/26	2,578名 2,210名
○コンサート 「電鉄みんなで歌いましょう in 阪神電車」	指導：I LOVE ASHIYA	6/21	66名
○まなびはく 2019「星の読書・夏」	講師：藤本由紀夫(アーティスト)	7/15	138名
○親子で楽しむおはなし付きコンサート サン＝サーンス作曲「動物の謝肉祭」 (再掲)	演奏：山口採菜(ピアノ) 八重崎渚(ピアノ、パーカッション) お話：あさいさくら 主催：芦屋市立美術館 企画：I LOVE ASHIYA 協力：あおぞらドラマカンパニー 伊勢幼稚園	7/21	138名
○せいゆうさんによる音と映像の楽しいよみきかせ 「小学館 おはなし玉手箱」(再掲)	主催：(株)小学館(株)小学館集英社プロダクション 協賛：一般社団法人日本児童教育振興財団 声優：株式会社 81 プロデュース	8/11 ① 11:00- ② 14:00-	97名 82名
○びはく夏祭り	運営：当館スタッフ、博物館実習生、谷崎潤一郎記念館	8/24	344名

○博物館実習	同志社大学・神戸大学・近畿大学・甲南大学・ 京都女子大・関西学院大学・成安造形大学・甲 南女子大学	8/20-8/24	13名
○コンサート「親子で楽しむクラシック コンサート&芦屋マルシェ」	主催：芦屋市 共催：芦屋市教育委員会 音楽企画：KONTA Inc.	9/22	200名
○芦屋市文化ゾーン連携企画 niwa-doku 2019	芦屋市立図書館、芦屋市谷崎潤一郎記念館、芦 屋市立美術博物館	10/27	475名
○まなびはく 2019 「学芸員と行く！ミュージアムの庭め ぐり～ミュージアム活用を考えるバス 研修」	芦屋市立美術博物館 → 白鹿記念酒造博物 館酒造館 → 西宮市大谷記念美術館	11/2	19名
○あしや芸術祭 「芦屋美博 JAZZ コンサート」	主催：あしや芸術祭実行委員会 後援：芦屋市、芦屋市教育委員会、芦屋市商工 会、芦屋観光協会、神戸新聞社 協力：芦屋市共同募金委員会	11/3	204名
○トライやる・ウィーク	(参加校) 県立芦屋国際中等学校 神戸市立横尾中学校	11/12-11/16	6名
○「あしやつくる場 2019 秋」	手作り品を中心としたアートバザール	11/16 11/17	1,665名 2,238名
○第30回 富田碎花賞 贈呈式	主催：芦屋市、芦屋市教育委員会 協力：富田碎花顕彰会 後援：兵庫県・兵庫県教育委員会 受賞者：田中武 受賞作品：半結晶質群（発行；475名ぼうろの 会）	11/21	35名
○芦屋市展 授賞式（再掲）	芦屋市長賞、芦屋市議会議長賞、芦屋市立美術 博物館奨励賞、審査員特別賞 （寄託賞） 芦屋市婦人会賞、芦屋ユネスコ協会賞、芦屋ラ イオンズクラブ賞、菊寿会会長賞 ターナー色彩株式会社賞、中山岩太賞、ハナヤ 勘兵衛賞、マースフォト賞、吉原賞、LADS ギ ャラリー賞、 オーディエンス賞（来館者の投票による）	11/24	57名
○オープニングティーパーティー	「in number, new world 四海の数」展 開会式	12/7	57名
○「昔のくらし」展 小学校見学	朝日が丘小学校 潮見小学校 潮見小学校 布引中学校 岩園小学校 浜風小学校 潮見小学校 芦屋インターナショナルスクール 打出浜小学校 潮見中学校 美術部	2/6 2/18 2/19 2/19 2/20 2/20 2/20 2/20 2/21 2/21	69名 253名 190名 15名 81名 43名 108名 20名 188名 19名

### 3 収蔵作品の貸出と借受の記録（歴史・美術部門）

#### (1) 貸出

展覧会名	貸出先	会期
○特別展「音楽家 貴志康一 生誕 110 年 ～吹田に生まれた若き天才～」	吹田市立博物館	4/27～6/9
○イベント「大河ドラマ『いだてん』 トークツアー in 大阪府豊中市」	NHK 大阪放送局	5/23
○「Atsuko Tanaka」展	Moderna Museet (ストックホルム近代美術館)	9/14～2020/2/16
○「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2019」	六甲山観光株式会社	9/13～11/24
○「没後 50 年 富貴のひと 鍋井克之」展	池田市立歴史民俗資料館	10/11～12/1
○「白髪一雄」展	東京オペラシティアートギャラリー	1/11～3/22

#### (2) 借受

展覧会名	借受元	会期
○小企画「生誕 110 年 菅井 汲」展	甲南学園	10/8～11/24

### 4 研修

名称	開催場所	開催月日
○リーダーシップ研修	株式会社小学館集英社プロダクション	6/28
○下請法研修	芦屋市立美術博物館	10/2
○会計研修	芦屋市立美術博物館	11/28

# 芦屋市谷崎潤一郎記念館

## 1 展示事業（本来事業）

### (1) 展示室

名 称	期 間	観覧者数
・春の特別展 「スキャンダル—噂の文豪—」	4/13～6/30 (69 日間)	2,827 名
・夏の特設展 「「歌人」谷崎潤一郎—文豪の五七五七七—」 (通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設)	7/6～9/8 (65 日間)	1,932 名
・秋の特別展 「WHAT IS TANIZAKI?～多面体の文豪～」	9/14～12/8 (74 日間)	2,912 名
・冬の特設展 「潤一郎、THE SHOW TIME!!—文豪 in エンター テイメント—」 (通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設)	12/14～3/8 (67 日間)	2,140 名
・春の特別展 「潤一郎の美術展—文豪ゆかりの「美」に浸る—」	3/14～6/7 (74 日間)	0 名

※「潤一郎の美術展」は新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、開幕延期

特別展・特設展(通常展)合計 9,811 名  
総入館者合計 10,014 名

### (2) 特別展・特設展(通常展)関連講座

名 称	内 容	開催月日	参加者数
春の特別展 「スキャンダル—噂の文豪—」関連事業 ○講演会「谷崎のアブない世界」	講師：堀江珠喜 (大阪府立大学教授)	5/26	47 名
夏の特設展 「「歌人」谷崎潤一郎—文豪の五七五七七—」 関連事業 ○講演会「文豪の大らかな調べ」	講師：楠田立身 (日本歌人クラブ)	8/24	20 名
冬の特設展 「潤一郎、THE SHOW TIME!!—文豪 in エンター テイメント—」関連事業 ○レクチャー「学芸員が語る冬の特設展」	講師：井上勝博 (当館学芸員)	2/15	7 名

### (3) 特別行事

名 称	内 容	開催月日	参加者数
第33回 残月祭 「『青い花』の長い散歩―大正期の谷崎文学と『都市』について―」	講師：ロバート キャンベル (日本文学研究者)	7/24	253名

## 2 その他の事業

### (1) ロビーギャラリー (自主事業)

名 称	期 間
文豪の家	4/13～11/4
書道家 翔 個展～氣～	11/7～11/17
富田碎花賞と富田碎花	11/20～11/24
大世晃僖写真展 「和合の力 光の狐～伏見稻荷編～」	11/27～1/26
谷崎館講座「受講生作品展」	絵手紙展 1/29～2/2 仏画展 2/5～2/9 日本画展 2/12～2/16 俳句展 2/19～2/24 スケッチ展 2/27～3/8

### (2) ロビーギャラリートーク・イベント (自主事業)

名 称	内 容	開催月日	参加者数
書道パフォーマンス	講師：翔 (西井友博) (書道家)	11/10	30名
写真展ギャラリートーク	講師：大世晃僖 (写真家)	12/22	8名
スケッチ展ギャラリートーク	講師：井上正三 (スケッチ講座講師)	3/8	中止

※3/8 ギャラリートークは新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大防止に伴うイベント自粛により中止となった。

### (3) 谷崎館講座 (自主事業)

名 称	内 容	開催月日	参加者数 (延べ人数)
源氏物語講座	講師：鈴木紀子 (京都橘大学名誉教授)	第3金曜日	458名

短歌講座	講師：楠田立身 (日本歌人クラブ)	第3火曜日	34名
俳句講座	講師：黒川悦子 (ホトトギス同人)	第4土曜日	84名
季語から始める俳句レッスン	講師：倉橋みどり (俳人協会会員)	第2土曜日	48名
”ちょっといい文章”書いてみませんか	講師：篠原嘉彦 (元読売新聞校閲部長)	第4水曜日	50名
初めての万葉集講座	講師：樋口百合子 (奈良女子大学古代学学術研究センター協力研究員)	第1水曜日	40名
しあわせを呼ぶ絵手紙講座	講師：坪田千鶴子 (日本絵手紙協会公認講師)	第1土曜日	66名
こころを伝える 絵手紙講座		第4金曜日	34名
筆で描くカリグラフィー	講師：林綾子 (カリグラフィーズ・ギルド会員)	第3水曜日	71名
仏画講座 癒しの仏画を描きましょう	講師：阿藤無華 (仏画師範)	第2土曜日	82名
初めての日本画・午前	講師：長谷川透 (日本画家)	第2木曜日	84名
初めての日本画・午後		第2木曜日	83名
スケッチ講座(水)午前	講師：井上正三 (水彩画家)	第2・4水曜	143名
スケッチ講座(水)午後		第2水曜日	62名
スケッチ講座(金)午前		第1・3金曜	163名
基礎から学ぶ朗読講座	講師：坂本知恵 (朗読グループ「古都」)	第3水曜日	56名
名作をひもとき名文を朗読	講師：前田 伊都子 (あおぞらドラマカンパニー所属)	第1水曜日	22名

#### (4) 1日体験講座 (自主事業)

名 称	内 容	開催月日	参加者数
夏休みこども講座 「文学館を探検しよう～見て・聞いて・レポート作り～」	講師：永井敦子 (当館学芸員)	8/17	3名
「かんたん絵手紙年賀状」体験講座	講師：坪田千鶴子 (日本絵手紙協会公認講師)	11/22	8名

(5) 現地講座（自主事業）

名 称	内 容	開催月日	参加者数
谷崎の愛した京の豪邸	京都・潺湲亭、下鴨茶寮 講師：当館学芸員ほか	11/8	25名

(6) 特別イベント・連携イベント（自主事業含む）

名 称	内 容	開催月日	参加者数
あしやつくるば 春	美術博物館との連携事業。美博前庭に谷崎館ブースを設置し、谷崎の写真パネル等を展示。	5/25、26	111名 (当館)
市民センター出前講座 芦屋市谷崎記念館・芦屋市立美術博物館 合同公開セミナー	講師：美術博物館学芸員、谷崎館学芸員 会場は市民センター401室。	8/23	42名
niwa-doku2019	図書館、美術博物館、谷崎館の3館合同企画。本と読書をたのしむ。	10/27	112名 (当館庭園)
あしやつくるば 秋	美術博物館との連携事業。谷崎正門前に書籍等の物販ブースを設置。 美博ステージにて朗読会 講師：坂本知恵（朗読グループ「古都」）	11/16、17	589名 (当館)
文化ゾーン講演会 「震災で故郷を失った2人の文学者～谷崎潤一郎と村上春樹」	講師：明里千章（千里金蘭大学教授） 谷崎潤一郎賞関連企画。 会場は美術博物館。	3/25	中止
文化ゾーン講座「学芸員が語る芦屋」	① 「絵葉書から読み解く芦屋遊園地—芦屋川の近代—」 講師：竹村忠洋（生涯学習課学芸員） ② 「芦屋、コスモポリタン～「細雪」の国際性～」 講師：井上勝博（当館学芸員） ③ 「芦屋とスポーツの歴史」 講師：室井康平（美術博物館学芸員） 会場はいずれも美術博物館。	① 3/26 ② 3/27 ③ 3/28	中止

※3/25 文化ゾーン講演会、3/26～28 文化ゾーン講座は新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴うイベント自粛により中止となった。

### 3 収蔵作品の貸出と借受の記録

#### (1) 貸出

展覧会名	貸出先	会期
○「永井荷風と谷崎潤一郎」展	市川市文学ミュージアム	11/2～1/19
○「佐藤春夫と谷崎潤一郎～離れえぬ縁～」展	新宮市立佐藤春夫記念館	11/19～2/24

#### (2) 拝借

展覧会名	借受元	会期
○「潤一郎の美術展～文豪ゆかりの「美」に浸る～」展	中央公論新社	3/14～6/7

令和元年度 収入実績 芦屋市立美術博物館

## 1 入館者数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入館者数 (人)	789	7,799	1,541	1,680	2,803	1,912	2,355	6,867	918	1,379	5,098	174	33,315

※新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年3月12日から臨時休館

## 2 収入実績 (利用料金)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
観覧料 (円)	140,000	221,800	298,350	254,450	352,830	150,200	0	0	191,520	345,990	211,670	0	2,166,810
展覧会その他収入 (円)	0	0	6,000	0	26,700	7,000	0	0	0	0	0	0	39,700
特別観覧料 (円)	1,500	0	1,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,900
施設使用料 (円)	4,100	12,500	19,000	8,200	4,100	26,300	12,500	4,100	12,300	8,400	8,400	0	119,900
駐車場 (円)	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	66,204	66,204	66,204	66,204	66,204	66,204	787,224
合 計	210,600	299,300	389,750	327,650	448,630	248,500	78,704	70,304	270,024	420,594	286,274	66,204	3,116,534

※新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年3月12日から臨時休館

令和元年度 収入実績 芦屋市谷崎潤一郎記念館

## 1 入館者数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入館者数 (人)	900	1,122	904	935	801	702	881	1,414	603	682	941	129	10,014

※新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年3月12日から臨時休館

## 2 収入実績 (利用料金)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
観覧料 (円)	121,240	199,390	178,030	88,580	122,170	114,340	152,690	133,880	89,100	83,580	122,470	15,420	1,420,890
特別観覧料 (円)	1,400	0	0	0	1,000	0	0	3,500	0	0	0	0	5,900
施設使用料 (円)	5,400	1,800	1,800	3,600	3,600	1,800	3,600	3,600	1,800	3,600	3,600	0	34,200
合 計	128,040	201,190	179,830	92,180	126,770	116,140	156,290	140,980	90,900	87,180	126,070	15,420	1,460,990

※新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年3月12日から臨時休館

令和元年度 芦屋市立美術博物館 管理業務の実施に係る収支状況			
収 入		支 出	
項 目	金 額(円)	項 目	金 額(円)
<b>指定管理料</b>	75,000,000	<b>指定管理業務</b>	
<b>利用料収入</b>	3,116,534	<b>人件費支出</b>	26,843,326
入館料	2,166,810	給与等	23,472,536
展覧会その他収入	39,700	社会保険料等	3,370,790
撮影料	2,900	<b>修繕費支出</b>	1,530,362
施設使用料	119,900	<b>その他支出</b>	29,665,431
駐車場使用料	787,224	光熱水費	12,143,947
<b>事業収入</b>	499,881	委託料	11,706,600
講座・イベント受講料	0	賃借料	293,209
受託販売(芦屋市)	36,557	手数料	7,518
受託販売(その他)	35,818	研修費	56,231
自館製作図録	120,450	備品費	0
その他	70,614	消耗品費	1,682,315
ルポ電気代返納分	236,442	通信費	1,334,319
<b>受取利息</b>	0	印刷費	1,057,759
<b>自主事業収入</b>	740,000	交通活動費	535,618
つくるば	740,000	広報費	237,156
		保険料	62,194
		自動販売機設置目的外使用料	6,864
		租税公課	16,000
		雑費	525,701
		<b>事業費支出</b>	18,348,720
		展覧会事業費	12,604,799
		教育普及事業費	592,246
		富田碎花資料研究費	291,675
		運営企画料	4,860,000
		その他の事業費(棚卸)	0
		<b>(その他支出のうち施設の維持管理に係るもの)</b>	11,706,600
		設備等点検費	5,035,800
		警備費・管理人費	2,936,460
		植栽剪定費	1,144,500
		清掃業務費	2,589,840
		<b>自主事業費支出</b>	927,746
		広告宣伝費	298,448
		消耗品費	18,327
		交通活動費	14,350
		運営費	229,266
		運搬費	36,720
		謝金	330,635
		<b>収支差額</b>	2,040,830
<b>合 計</b>	79,356,415	<b>合 計</b>	79,356,415

令和元年度 芦屋市谷崎潤一郎記念館 管理業務の実施に係る収支状況

収 入		支 出	
項 目	金 額(円)	項 目	金 額(円)
指定管理料	17,000,000	指定管理業務	
利用料収入	1,475,990	人件費支出	15,065,781
入館料	1,420,890	給与等	13,667,995
展覧会その他収入	0	社会保険料等	1,397,786
撮影料	5,900	修繕費支出	422,400
施設使用料	34,200	その他支出	6,970,756
その他(機材使用料)	15,000	光熱水費	47,678
事業収入	728,924	委託料・維持管理費	4,532,220
講座・イベント受講料	514,500	賃借料	411,900
受託販売(芦屋市)	9,652	手数料	24,962
受託販売(その他)	84,140	研修費	86,543
自館製作図録	0	備品費	0
その他	120,632	消耗品費	631,992
受取利息	0	通信費	457,681
自主事業収入	4,103,400	印刷費	301,817
谷崎館講座	4,103,400	交通活動費	179,164
		保険料	38,075
		自動販売機設置目的外使用料	0
		租税公課	0
		雑費	258,724
		事業費支出	2,542,305
		展覧会事業費	728,070
		教育普及事業費	0
		講座・イベント事業費	1,108,269
		運営企画料	0
		その他の事業費(棚卸)	705,966
		(その他支出のうち施設の維持管理に係るもの)	4,532,220
		設備等点検費	1,393,020
		警備費・管理人費	1,007,160
		植栽剪定費	719,400
		清掃業務費	1,412,640
		自主事業費支出	2,259,502
		谷崎館講座 講師謝礼	2,259,502
		収支差額	-3,952,430
合 計	23,308,314	合 計	23,308,314

事業実施状況(2館共通)

NO.	公募時				年次計画内容	実施結果	実施回数
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数			
【本事業】							
1	資料の整理・調査	資料の整理・調査、データベースの更新	令和3年	—	市と協議をしつつ、収蔵品台帳の整備を行った	継続実施	継続
2	運営	2館共通チケット、連携した展示等	—	—		R1.6～継続実施	継続
3	基本方針 (美術博物館)	管理運営ボランティアの募集	—	—		—	—
4		親子で鑑賞できるワークシートの導入	—	—		令和元年度実施済み	1回
5		ワークショップを中心とした展示	—	—		—	—
6	基本方針 (谷崎記念館)	地域とも協働した事業の実施	—	—		—	—
7		管理運営ボランティアの募集	—	—		—	—
8		子どもに対する展示・事業の積極的展開	—	—	美術博物館と連携してniwa-doku、つくるば(春・秋)を実施	令和元年度実施済み	3回
9		子ども向け講座の企画実施	—	—	夏休みこども講座を実施	令和元年8月17日実施	1回
10	人材育成 (運営)	指定管理者研修(新人研修)	入社時	—		令和元年度実施済み	2回
11		事業計画書研修(新人研修)	入社時	—		令和元年度実施済み	2回
12		現場研修(新人研修)	入社時	—		令和元年度実施済み	2回
13		個人情報保護研修	入社時	—		令和元年度実施済み	2回
14		システム研修	入社時	—		令和元年度実施済み	2回
15		接客・マナー研修	入社時	—		令和元年度実施済み	2回
16		苦情要望対応研修	入社時	—		令和元年度実施済み	2回
17		総務経理研修	入社時	—		令和元年度実施済み	2回
18		消防・避難訓練	—	年2回以上		令和元年度実施済み	2回
19		防犯訓練	—	年1回以上		令和元年度実施済み	1回
20		AED・救急救命研修	—	年1回以上	安全管理担当者向けに実施	令和元年度実施済み	1回
21		著作権講習	—	必要に応じて		—	—
22	学芸員による展覧会レクチャー	展覧会前日に毎回	—	各展覧会ごとに担当学芸員から案内員向けに実施	令和元年度実施済み	随時	
23	博物館研修	—	適宜	令和元年度は下請法研修を実施	令和元年度実施済み	1回	
24	ミュージアムマネジメント研修	—	年1回	リーダーシップ研修、管理者マネジメント研修として実施	令和元年度実施済み	2回	
25	人材育成 (維持管理)	新人(入社時)研修	—	—		令和元年度実施済み	1回
26		導入研修	—	—		令和元年度実施済み	1回
27		人権研修(全社員)	—	1回/年		令和元年度実施済み	1回
28		個人情報保護研修(全社員)	—	1回/年		令和元年度実施済み	1回
29		施設管理員合同研修会	—	1回/年		令和元年度実施済み	1回
30		クリーンクルー合同研修	—	1回/年		令和元年度実施済み	1回
32		品質管理課の巡回指導	—	—		令和元年度実施済み	1回
33		施設管理会議	施設責任者会議、施設担当者会議、安全管理担当者会議	—	—	代表企業の安全管理室の内部監査を実施した。また安全管理担当者会議を実施した。	令和元年度実施済み
42	危機管理	危機管理マニュアルの配備	—	—	危機管理マニュアル実施状況の確認及びリメイクを実施した	令和元年度実施済み	1回
43		(緊急時用)クイックマニュアルの配備	—	—		—	—
44		(感染症対策)処理キットの導入	—	—		—	—
45	維持管理運営	長期的な修繕計画の提案	—	—		—	—
46		(日常点検)自主点検	—	—		継続実施	継続
47		運営担当の館内巡回(巡回点検表)	—	開館期		継続実施	継続
48		管理担当の館内巡回(管理日報、巡回点検表、清掃日誌)	—	6日/週		継続実施	継続
49		危機管理マニュアルの見直し	—	1回/年	谷崎潤一郎記念館において実施	令和元年度実施済み	1回
55	サービス向上	苦情対応マニュアルの更新	—	—		—	—
56		施設からのアクセス案内の配布	—	—		—	—
57		駅～文化ゾーン、文化財散策マップの作成	—	—		—	—
58	集客促進策	Web上でのアンケートを取れる仕組みの構築	—	—		—	—
59		(チラシ・ポスター)ビジュアルに訴える良質なデザイン	—	—		継続実施	継続
60		2館のホームページを一体化	—	—		—	—
61		ホームページの多言語化	—	—		—	—
62		ホームページを利用者からみやすくわかりやすいものにリニューアル	—	—		—	—
63		facebookやtwitterでの情報発信	—	—	令和2年3月から発信内容を充実させた。	継続実施	継続
64		2館合同のチラシやポスターの作成	—	—		—	—
65		2館で相乗効果が期待できる年間スケジュールの策定	—	—	開幕・閉幕時期をできるだけ合わせるよう調整した。	継続実施	継続
66		2館の年間スケジュールの一体化(集客が見込める場合)	—	—	開幕・閉幕時期をできるだけ合わせるよう調整した。	継続実施	継続

事業実施状況(芦屋市立美術館)

NO.	公募時				年次計画内容	実施結果	実施回数
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数			
<b>【本事業】</b>							
1	H31年度 展覧会	第65回芦屋市展	H31春頃	1回	令和元秋に開催	令和元年10月～11月に実施	1回
2		こどもおとな 美術とわたし／大人もこども 私と美術	H31夏頃	1回	「コレクション展 こどもおとな—これ、なににみえる？」を開催	令和元年7月～9月に実施	1回
3		描かれた神戸・大阪 —阪神名勝図会と青山政吉—	H31秋頃	1回	令和元年春に開催	令和元年4月～6月に実施	1回
4		art trip vol.3 「number」	H31冬頃	1回	「in number , new world/四海の数」として開催	令和元年12月～ 令和2年2月に実施	1回
5	R2年度 展覧会	コレクション展 —風景—	R2春頃	1回		該当なし	—
6		洋画の生まれた時／関西洋画の黎明期	R2夏頃	1回		該当なし	—
7		没後55年 谷崎潤一郎 表挿絵、さし絵の世界展	R2秋頃	1回		該当なし	—
8		創造の証明—児童雑誌「きりん」から	R2冬頃	1回		該当なし	—
9	R3年度 展覧会	第66回芦屋市展	R3春頃	1回		該当なし	—
10		伊勢物語 —伊勢物語絵巻のすべて—	R3夏頃	1回		該当なし	—
11		没後90年 小出楯重展	R3秋頃	1回		該当なし	—
12		没後25年 村上三郎展	R3冬頃	1回		該当なし	—
13	R4年度 展覧会	子どもの具体展	R4春頃	1回		該当なし	—
14		浮世絵 美人画	R4夏頃	1回		該当なし	—
15	R5年度 展覧会	第67回芦屋市展	R5春頃	1回		該当なし	—
16		具体展 1954-1972	R5夏頃	1回		該当なし	—
17		芦屋の歴史と文化財(拡大バージョン)	R5秋頃	1回		該当なし	—
18		関西の写真史／芦屋カメラクラブ	R5冬頃	1回		該当なし	—
19	H31～R5年度 毎年開催	芦屋市造形教育	毎年2月	1回	令和2年2月13日～2月21日に開催	令和元年度実施済み	1回
20		芦屋の歴史と文化財	毎年4～11月	1回	令和元年4月7日～11月23日に開催	令和元年度実施済み	1回
21		昔のくらし展	毎年12月～2月	1回	令和元年12月5日～令和2年2月21日	令和元年度実施済み	1回
22		(タイトル未定)1階ホールでの展示	毎年3月	1回	各展覧会で実施	継続実施中	継続
23	展覧会事業	親しみやすく来て観て楽しい親子・大人と子どもが学びあえる展示の実施	—	—	親子向け展覧会「こどもおとな—これなにに見える」展を開催	令和元年度実施済み	1回
24		具体コレクションの巡回展	R4年度	—		該当なし	—
25		大規模改修後の大規模な展覧会の実施	R5年度	—		該当なし	—
26	展覧会事業(美術)	大規模な具体展で全国の美術館との連携を図り共同開催	—	—		—	—
27		ホールでの作家もしくはグループによる作品発表	—	—	「in number , new world/四海の数」展で実施	令和元年度実施済み	1回
28	展覧会事業(博物)	紹介できていない資料の展示	—	—		継続実施	継続
29		ハンズオンを取り入れた展示の実施	—	—	3月以降は新型コロナウイルス感染症対策のため、中止	継続実施	継続
30		阪神淡路大震災、阪神大水害等の展示	—	—		—	—
33	展覧会事業 (利用者への配慮)	キャプションの文字を適切なサイズ及び適宜ルビ振り	—	—		継続実施	継続
34		キャプションの多言語化	—	—		—	—
36		美術教諭、教員養成学部学生、指導員等への美術教育普及に関心を持つ方を対象とする研修会の実施	—	—		—	—
38		2館連携した展覧会(美術を第1会場、谷崎を第2会場)とした展覧会の実施	—	—		—	—
39		2館の特徴ある空間を活かした関連イベントの実施	—	—	niva-doku,つくるばの開催	継続実施	継続
40		学校団体の誘致・受入、観覧前レクチャー、ギャラリートーク、ワークシートの作成	—	—	市内外の小中学校からの団体見学を受け入れた(986名)	継続実施	継続
41		「あしやキッズスクエア」への参加	—	—		—	—
42	隣接する伊勢幼稚園との連携	—	—	「イセコレ」、関連ワークショップなどを実施	令和元年4月24日 5月8日に開催	2回	
43	(小学校)市内の学校園を対象とした出前授業、美術部門では対話型鑑賞、博物部門では歴史資料の持込み	—	—		—	—	
44	(中学校)トライやるウィークの受け入れ	—	—	2校受け入れ	令和元年11月12日～16日	1回	
46	(大学)甲南女子大学メディア表現学科の教諭との連携によるワークショップの実施	—	—	武庫川女子大学との連携事業として講演会を実施	令和元年4月14日	1回	
47	(大学)博物館実習の実施	—	—	8大学から受け入れ	令和元年8月20日～24日	1回	
49	(学校教育課程)芦屋市造形教育研究会への参加	—	—		—	—	
50	(教職員研修)ミュージアムエデュケーション研修会	—	—		—	—	
51	教育普及活動	まなびはくの実施	—	—	令和元年6月～10月で実施	令和元年度実施済み	5回
52		芦屋市文化ゾーン講座の実施	—	—	令和2年3月に予定したが、臨時休館のため延期	延期	延期
53		「美術鑑賞教材」の開発	—	—		—	—
54		「市内アートマップ」の作成	—	—		—	—
55		講演会、上映会、ワークショップ、ギャラリートークの実施	—	—	展覧会に応じて実施	継続実施	継続
56		HPで過去の展覧会や図録、これまでの活動紹介をし、市民の調査研究の一助とする。	—	—	HPの他にSNSを活用して周知した	継続実施	継続
57		他館との連携事業を実施	—	—	「まなびはく」で他館と連携して事業を実施	令和元年度実施済み	1回
58		市民センターの連携強化	—	—	展覧会開催に合わせて公開セミナーを実施	令和元年度実施済み	1回
61		展覧会や研究論文等での発表	—	—		継続実施	継続
62		(美術)所蔵品目録の製作(1998年からの更新)	—	—	更なる整理を目指して作業を行う	継続実施	継続

64		(美術)聞き取り調査によるオーラルストーリーの構築	-	-		継続実施	継続	
65		(博物)調査研究成果を講演会等で発表	-	-	文化ゾーン講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止	令和元年度は中止	中止	
66	調査研究成果の発信	展覧会の関連事業としての講演会	-	-	各展覧会に合わせて実施	継続実施	継続	
67		論文の掲載を想定した図録の作成	-	-		-	-	
68		「美術博物館だより」の作成・発行	-	-		令和元年度実施済み	1回	
69		学会の開催を積極的に行う	-	-		-	-	
70		学術資源を外部の美術館学芸員や研究者に公開	-	-		継続実施	随時	
71	保管・貸出・借受	保存状態、破損等の確認	-	年1回		継続実施	継続	
	保守管理計画	施設管理業務	-	6日/週	常時	令和元年度実施済み	常時	
		特殊建築物定期調査報告	-	1回/3年		-	-	
		建築設備定期調査報告	-	1回/年		3月実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止	令和2年度に延期	延期
		防火設備定期調査報告	-	1回/年			令和元年度実施済み	1回
		建築物環境衛生管理技術者選任	-	12か月/毎年			令和元年度実施済み	随時
		空気環境測定	-	6回/年		奇数月に実施	令和元年度実施済み	6回
		冷却塔清掃	-	2回/年			令和元年度実施済み	2回
		鼠・害虫防除	-	2回/年			令和元年度実施済み	2回
		高圧変電設備保守点検	-	6回/年		常時(点検は偶数月)実施	令和元年度実施済み	6回
		消防設備法定点検	-	2回/年			令和元年度実施済み	2回
		エレベーター保守点検	-	12回/年		毎月(うち、4回は有人)実施予定	令和元年度実施済み	12回
		シャッター保守点検	-	2回/年			令和元年度実施済み	2回
		自動扉保守点検	-	2回/年			令和元年度実施済み	2回
		ボイラー保守点検	-	2回/年			令和元年度実施済み	2回
		空調設備点検	-	2回/年			令和元年度実施済み	2回
		フロン排出抑制法法定点検	-	1回/3年			該当なし	-
		吸収式冷温水発生機保守	-	2回/年			令和元年度実施済み	2回
		空調自動制御機器保守点検	-	1回/年		5回に分割実施	令和元年度実施済み	1回
		加湿器保守点検	-	1回/年		2回に分割実施	令和元年度実施済み	1回
		機械警備遠隔監視	-	12か月/毎年		常時実施	令和元年度実施済み	常時
	日常清掃業務	-	12か月/毎年		常時実施	令和元年度実施済み	常時	
	定期清掃業務	-	4回/年			令和元年度実施済み	4回	
	ガラス清掃業務	-	4回/年			令和元年度実施済み	4回	
	植栽管理	-	5回/年			令和元年度実施済み	5回	
<b>【自主事業】</b>								
1	ART MARKET つくる場	ジャンルを超えた様々な交流や体験の場の提供	-	-	谷崎酒一郎記念館と連携して5月、11月の各2日間で開催	令和元年度実施済み	2回	
2	niwa-doku	芦屋市文化ゾーン連携事業	-	-	図書館・谷崎酒一郎記念館と連携して10月に実施	令和元年度実施済み	1回	

事業実施状況(芦屋市谷崎潤一郎記念館)

NO.	公募時				年次計画内容	実施結果	実施回数
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数			
<b>【本来事業】</b>							
1	展覧会 各年4回の展覧会を実施 ※公募時のものは案であり、随時提案の上、実施	谷崎と芦屋ファッション	-	-	春の特別展として「スキヤンダル—噂の文豪—」を実施	令和元年4月～6月で実施	1回
2		建築からみる芦屋と谷崎	-	-	夏の特設展として「歌人」谷崎潤一郎—文豪の五七五七七—」を実施	令和元年7月～9月で実施	1回
3		作品からみる阪神間モダニズム	-	-	秋の特別展として「WHAT IS TANIZAKI?～多面体の文豪～」を実施	令和元年9月～12月で実施	1回
4		Tanizaki Gourmet	-	-	冬の特設展として「潤一郎、THE SHOW TIME!!—文豪 in エンターテイメント—」を実施	令和元年12月～令和2年3月で実施	1回
5		松子と幸子	-	-	春の特別展として「潤一郎の美術展—文豪ゆかりの「美」に浸る—」を実施	令和2年3月～6月で実施	1回
6		芦屋四姉妹物語	-	-		-	-
7		「細雪」のなかの芦屋	-	-		-	-
8		時代で変わる男と女	-	-		-	-
9		国際都市 ASHIYA	-	-		-	-
10		谷崎と舞台	-	-		-	-
11		映画史からみる谷崎作品	-	-		-	-
12		永井荷風と谷崎潤一郎	-	-		-	-
13		作家の青春物語	-	-		-	-
14		谷崎作品における男性像	-	-		-	-
15		大正モダニズム～装丁～	-	-		-	-
16		表紙絵・挿絵の世界	-	-		-	-
17		谷崎が描く小さな世界	-	-		-	-
18		まんがで知る文豪	-	-		-	-
19	展覧会関連事業	(展覧会に応じた)ギャラリートークの実施	-	-		継続実施	継続
20		(展覧会に応じた)講演会の実施	-	-	展覧会内容に応じて開催	継続実施	3回
21		(展覧会に応じた)ワークショップの実施	-	-		-	-
22		読書感想文講座等夏休みのワークショップ	-	-		「文学館探検」を実施	1回
23	残月祭	毎年7月24日残月祭を実施する	毎年	各年1回		令和元年7月24日開催	1回
25	利用者への配慮	色彩、フォント、ルビ、空間デザインに留意した展示	-	-		継続実施	継続
27	教育普及活動	課外授業の積極的受け入れ	-	-		トライやるウィークの受け入れ	-
28		谷崎潤一郎の一生とテーマとした紙芝居の製作及び朗読	-	-		-	-
29	整理・保存・調査・研究	阪神間の美術館、大学等研究機関と連携した展覧会の実施	-	-		-	-
30		館だよりの発行	-	1回/年		令和元年度実施済み	1回
31		阪神間の美術館、大学等研究機関と連携した共同研究・共同発表の場を設ける(内部)勉強会の実施及び日本近代文学会での研究発表	-	-		-	-
32		備品の棚卸及び管理目録の更新	毎年	年1回		継続実施	継続
33	保守管理計画	施設管理業務	-	6日/週	運営管理業務として実施	令和元年度実施済み	常時
34		消防設備法定点検	-	2回/年	3回に分けて実施	7・8・11月実施済み	3回
35		自動扉保守点検	-	2回/年		9・3月実施済み	2回
36		吸収式冷温水発生機保守	-	4回/年		5・8・11・2月実施済み	4回
37		空調設備点検	-	2回/年	ファンコイル・パッケージ空調点検として実施	5・11月実施済み	2回
38		空調設備フロン排出抑制法法定点検	-	1回/3年		該当なし	-
39		空調自動制御機器保守点検	-	1回/年	空調機・レターファン点検として実施	11月実施済み	1回
40		加湿器保守点検	-	1回/年		11月実施済み	1回
41		冷却塔清掃	-	2回/年		5・11月実施済み	2回
42		機械警備遠隔監視	-	12か月/毎年	常時実施	令和元年度実施済み	常時
43		濾過循環装置濾材交換	-	1回/5年	2021年予定	該当なし	-
44		鼠・害虫防除	-	2回/年		7・11月実施済み	2回
45		植栽管理	-	5回/年	7回に分けて実施	6～11・2月実施済み	7回
46		日常清掃業務	-	12回/年		令和元年度実施済み	常時
47		定期清掃業務(床面)	-	2回/年		9・3月実施済み	2回
48		定期清掃業務(池清掃)	-	3回/年	状況を見て2回にまとめて実施	9・3月実施済み	2回
49		ガラス清掃業務	-	4回/年		6・9・11・3月実施済み	4回
<b>【自主事業】</b>							
1	庭園企画	庭園を意識した企画の実施	-	-		令和元年度実施済み	1回

2	上映会	谷崎原作の映画名作選の上映会を実施	-	-	-	-
3	講座	源氏物語、枕草紙など古典をテーマとした講座	-	-	令和元年度実施済み	2講座
4	文学館講座	俳句、短歌、絵手紙などの文学館講座	-	-	令和元年度実施済み	15講座
5	朗読シアター	谷崎作品の朗読シアターの実施	-	-	-	-
6	旧艇めぐり	谷崎旧艇めぐりツアーの実施	-	-	令和元年11月8日実施済み	1回